

50代に似合う服/春の昼膳/服の手入れ法

クロワッサン

Premium

輝く自由な50代へ

プレミアム

春の
ファッション
大特集

2010
No.30

5
月号

特別定価 650円



「あがいて女」「無理して若さ」の
着こなしは、もう卒業しませんか？

50代が断然 きれいに 見える服

品格ある 春の昼膳

人をあなすレストランの条件

おしゃれ好きにこそ知ってほしい

大切な服の最新お手入れ法

私たちの青春は、いつもここに

ユーミン、SURF&SNOWの30年

内外美容のすすめ

「化粧品が効かなくなった」と思ったら



内 手作りする化粧品は、長崎に店舗を持つ「パラディ・アローム」(☎095-829-3033)のエッセンシャルオイルを使っている。オーガニック植物のエキスを凝縮したやさしい香り、調合しているときから、心身ともに癒されるという。



外

日本初、生の酒粕を使用した大吟醸酒化粧水「福千歳」150ml 2,500円と、同様に大吟醸酒の酒粕を使用したせっけん80g 1,200円。どちらも無香料、無着色、無添加。(福千歳醸造元 田嶋酒造)



内 残った日本酒をとって、たっぷり浴槽に入れて1時間ほど半身浴をする。汗をたくさんかくうえ、入浴後は肌がしっとりするそう。日本酒以外にも塩や酒粕を使って入浴することもある。どれも保温効果や保湿効果が高いという。

植物の力が、心を前向きにしてくれた。自分に合うものを作る、見つけることが大切。
原順子さん サークラス・ポーカル

25年前、ハードな仕事のストレスから体調を崩したサーカスのポーカル・原順子さん。生活時間の改善をはじめ、口にするもの、肌につけるものなどすべてを見直したのだそう。

「アロマテラピーを知ったのもそのころ。植物の香りをかくことで、植物の力を肌に浸透させることで、不調だった私の体が少しずつ変わっていききました」

以来、スキンケアのほとんどはアロマオイルで手作り。

「何でも簡単に手に入る今、手作りは面倒な行為かもしれませ

ん。でも、好きな香りに包まれて素材の確かな化粧品を作っていると、安心感があって、楽しくて、満足感もある。何より前向きな気持ちになります」

そんな原さんも、市販の化粧品に助けってもらうことも。

「年齢とともに肌のリカバリー力が落ちていくなと感じていたときに、お友達に紹介されたの



外

エリザベスアーデンの美容液 プリベージ アンチエイジングトリートメントは、インターネットや海外の友人などに頼んで購入している。

がエリザベスアーデンの美容液。週に一度、入浴後すぐにつけて、栄養補給をしている感じ。自分にも合うものを見つけることも大切。自分の健康や肌は自分で守るしかないからです」

はら・じゅんこ★歌手、コンサート予定は、6月4日STB139(☎035474-0139)。チケット予約は3月25日より受け付け。

日本酒風呂で肌に潤いを。さらに質の高い眠りで美肌に導く。
友田晶子さん ワインコレクター

友田晶子さんは、福井の雪国育ち。そのせいか、もともと白くてキメが細かな肌は悩みを感じることが少なかった。ところが、

「東京に出てきてから、空気の乾燥が肌にとって息苦しく、つねに保湿を考えるようになりました。さらに最近では、年齢とともにシミ、シワ、たるみも気になってきましたね」

そんなとき思い出したのは、麴。仕事柄、日本酒の造り手に会うことも多く、彼らの手が白く美しいのは、麴菌を触っているからということを実感していた。さっそく、飲み残していた日本酒をたっぷりお風呂に入れて半身浴したところ、

「体の芯からほかほかと温まって、肌がしっとり。おまけに熟睡できるんです。肌にとっていいことばかりでしょう。また、私は酒粕を入れてマッサージュもします。エステや温泉に行く時間がないときは、これでも十分肌がスベスベになりますよ」

さらに麴を使った化粧水も使っている。

「福千歳」は、私の故郷福井の酒蔵が作っている大吟醸酒とその吟醸酒粕を使った化粧水。リーズナブルなので、惜しげなく使えて肌力が上がります」

とまた・あきこ★ワインをはじめる日本酒などお酒に関するセミナー、コンサルティング、執筆を行う。著書に、「世界に誇る—品格の名酒」(JPA)など。